

生殖腺指数、胃内容物

8月のトビイカの生殖腺指数は0.6-4.9の範囲で平均♀1.0.7、♂1.4.5、♂♀1.1.6であった。未発達な個体が3個体出現した。

胃内容物重量は0.2-4.0.4 gの範囲で平均4.6.8 g、胃内容物量は魚類とイカでイカが優占した。(表4-1)

表4-1 トビイカ精密測定表

精密測定表(トビイカ用)

魚種		トビイカ		県名		沖縄県		採集(水揚)地		糸満	
採集年月日		昭和50年8月27日		漁業種類		釣		船名		くろしお	
測定年月日		昭和50年9月9日		漁獲量							
(生鮮標本)		ホルマリン固定標本)		漁場		その他		久高沖			
No	M L	B W	性 比		G W	交 換 態	胃 内 容 物		備 考		
	外套長	体 重	♂	♀	生殖腺重量		内容物重量	餌生物種類、量			
	cm	g			g		g		生殖腺指数 G・I×10 ⁵		
1	247	730		○	253		40.4	イカ	36.7		
2	230	510		○	23.7		4.5	イカ、魚	46.9		
3	20.3	365		○	1.5		17.5	イカ	4.3		
4	20.4	340		○	11.8		0.3	"	34.7		
5	15.6	155		○	0.1		0.5	魚	0.6		
6	15.9	180		○	0.3		0.6	消化物	1.7		
7	17.1	200		○	0.3		1.0	魚	1.5		
8	14.2	100		○			0.2	消化物	-		
9	16.1	170		○	0.3		0.9	"	1.8		
10	15.6	145		○			0.2	"	-		
11	13.7	95	○				0.2	イカ	-		
12	17.9	260		○	0.4		13.3	"	1.6		
13	15.4	175		○	0.2		1.9	"	1.2		
14	14.7	130	○		2.9		0.2	消化物	22.3		
15	15.7	160		○	0.7		0.3	"	4.4		
16	16.4	175		○	0.5		8.3	イカ	3.0		
17	15.1	150	○		2.5		1.1	消化物	16.8		
18	16.4	135	○		0.1		0.2	"	0.7		
19	13.5	100	○		1.8		0.4	"	18.1		
20	17.4	240		○	0.3		1.5	"	1.3		
平均	16.96	225.8			♀ 5.03 ♂ 1.83 合計 42.8		4.68		11.62		

2) 漁獲量調査結果

表4-2 トビイカ月別水揚量(糸満漁協、港川漁協)

単位: kg

地域	項目	年	7月	8	9	10	11	計
糸満	水揚日数	49	15	19	18	7	-	59
		50	15	7	22	15	6	65
	のべ水揚 隻数	49	223	262	276	80	-	841
		50	127	127	606	120	16	996
	水揚量	49	3,622.6	7,008.5	9,646.5	2,803.4	-	23,081.0
		50	2,136.9	4,638.9	20,456.3	2,772.6	946.3	30,951.0
港川	水揚日数	49	10	12	16	9	-	47
		50	14	5	22	10	-	51
	水揚量	49	1,113.4	1,802.8	6,300.5	3,593.0	-	12,809.7
		50	2,256.5	2,873.3	13,158.8	2,191.9	-	20,480.8

全沖縄のトビイカの漁獲量は昭和50年には306トンで昨年の85%であった。

糸満漁協市場と港川漁協市場の水揚量は全沖縄の約17%であった。糸満漁協市場は50年には31トンの水揚量で昨年の134%、1日1隻当りの水揚量は31kgで昨年の115%とともに増加した。同じく港川漁協市場の水揚量は20トンで昨年の16%で大きく伸びた。

(表4-2)

5 鮮魚取扱い市場水揚量調査結果

調査地を沖縄本島では県漁連、那覇地区漁協、糸満漁協、港川漁協、宮古では平良市漁協、八重山では八重山漁協の計6ヶ所を選定し、市場月報およびセリ帳からの直接集計、農採水産統計を用いて調査を実施した。

県漁連市場

全沖縄の市場の水揚量の63%を取扱っている。昭和50年の年間水揚量は5,484トン、3,422,535千円の生産額で主な漁業種類はマグロ延縄、深海1本釣、追込網である。昭和49年と比較すると水揚量は109%、生産額は126%とともに増加した。魚種別水揚量はハマダイ117.3トン、スジハタ類83.9トン、ハマフエフキ31.0トン、アオリイカ77.6トンであった。

那覇地区漁協市場

全沖縄の市場の水揚量の19%を取扱っている。水揚量は1,631トン、生産額、1,041,740千円、昨年と比較すると水揚量は95%、生産額は105%となった。魚種別水揚量はハマダ

イ 110.7トン、スジハタ類 38.3トン、ハマフェエキ 25.0トン、アオリイカ 3.1トンであった。主な漁業種類はマグロ延縄、深海一本釣である。

糸満漁協市場

昭和50年の年間水揚量は559トン、生産額は397,663千円である。昨年と比較すると水揚量は132%、生産額は146%で増加した。主な漁業種類は一本釣、底延縄、曳縄である。魚種別水揚量はハマダイ 2.8トン、スジハタ類 1.38トン、ハマフェエキ 40.8トン、アオリイカ 9.8トンであった。

港川漁協市場

昭和50年の年間水揚量は78トン、生産額は52,219千円、昨年と比較すると水揚量は152%、生産額は62%であった。主な漁業種類は一本釣、曳縄である。

八重山漁協市場

昭和50年の年間水揚量は71トン、生産額は22,203千円、昨年と比較すると水揚量は56%、生産額は51%であった。主な漁業種類は一本釣、小型巻網である。

平良市漁協市場

昭和50年の年間水揚量は116トン、生産額は74,716千円、昨年と比較すると水揚量は124%、生産額は124%であった。主な漁業種類は一本釣、曳縄である。

県漁連市場

那覇地区漁協

糸満漁協市場 単位：kg、千円

月	水揚量	金額	月	水揚量	金額	月	水揚量	金額
1	378,974	245,625	1	97,029	68,995	1	36,395	28,233
2	396,625	264,152	2	99,860	67,562	2	20,297	19,846
3	453,633	304,455	3	122,787	89,088	3	39,216	34,976
4	490,107	271,011	4	149,610	86,195	4	41,505	28,877
5	500,841	248,898	5	179,375	89,795	5	62,395	32,622
6	433,742	211,278	6	174,694	94,730	6	42,606	25,011
7	507,851	269,240	7	177,262	104,079	7	52,367	36,316
8	437,877	329,484	8	89,216	72,224	8	34,044	29,252
9	451,942	276,779	9	143,921	87,331	9	88,338	47,825
10	450,981	324,627	10	137,932	104,416	10	48,405	40,161
11	459,086	300,335	11	117,079	74,961	11	48,695	37,303
12	522,857	376,651	12	142,973	100,367	12	44,686	37,241
50年計	5,484,516	3,422,535	50年計	1,631,735	1,041,740	50年計	558,949	397,663
49年計	5,034,545	2,714,487	49年計	1,716,469	988,161	49年計	424,878	271,509